

愛知・岐阜・三重県 合同まちづくり実行委員会 活動報告

報告日 17年 10月 21日 (金)

報告者 労組名 名鉄百貨店労組 氏名 鬼頭 幸三

開催日 17年 10月 9日 (日)

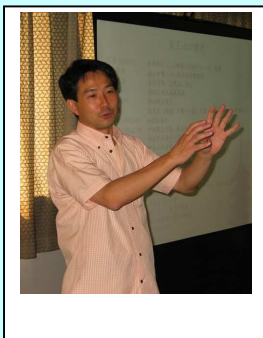
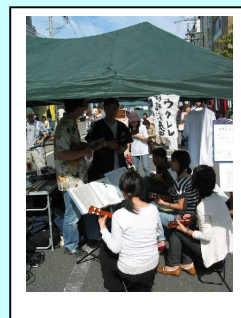
開催場所 名古屋・覚王山 弘法屋センター

参加者 丸栄労組一前田、三越労組一本根、全エデン労協一松田、松坂屋労組一中村、高島屋労組一所、津松菱労組一西村・山田、中部近鉄労組一鈴木、名百労組一鬼頭、他 計64名

内容

(シンポの Menu については開催案内を参照) 大塚氏は「これからのまちづくり～覚王山への思い～」と題して、出身である覚王山の商店街を中心としたまちづくりの取り組みについて講演した。「覚王山のまちづくりを語るのに日泰寺の歴史を知らずして何をいわんや」と、100年の歴史を誇る日泰寺についての説明や「価値観を共有できるまち」を目指したまちづくりのポイントについて熱く語った。後半は大塚氏に秋元氏が加わり、NPO法人G-netの取り組みについても話題が提供された。2人の論議の中で、まちの資源を活かしていくこと、行動する人を育てること、地域の信頼関係を築いていくことなどの提案がされて、シンポジウムを終了した。

「まちづくりフォトアルバム」



まとめ・感想

覚王山商店街の「参道ミュージアム」のイベントに合わせてシンポを開催したことは地域に貢献できたと考える。今回のシンポの参加者はJSDだけでなく、自治労を中心とした他産別やまちづくり団体、学生、地元の住民など様々な立場の人が集まって開催できたことはうれしい(64名参加)。シンポジウムの最後に、今後もこのようなまちづくりの勉強会を継続して行っていくことを参加者全員の拍手で確認した。今回は質問の時間があまり取れなかったため、次回は参加者も自由に意見が言える場を設けていきたい。